

- 株式会社アイシンは、DXによりCASE、特に電動化への対応を加速し、eAxleやPHEV、HEVなどに用いられる電動化製品を拡充することにより、社会課題の解決を目指す。
- 設計図面や試験評価結果等の開発成果物及び生産・物流関連情報について、データと行動ログをセットで一元管理する「v.Platform」及び「IoTプラットフォーム」を構築し、設計開発、調達、生産技術、生産、物流などあらゆるシステム・データベース等と連携してアクティビティログを蓄積する。これを分析・活用することによって、製品開発期間の短縮、生産性の向上及び間接業務の負荷軽減を進めることで、CASE商品の売上増加を目指す。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2022年8月 ~ 2026年3月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

CASEに対応する新商品・新サービスの売上高伸び率が、業種売上高伸び率を5%ポイント以上上回ることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

上記の取組により、投資額に対するCASE商品の売上高の割合が10倍以上となることを目指す。

4. 支援措置

税制措置（DX投資促進税制）

<事業適応計画のイメージ>

